

北海道釧路高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和４年度に重点化する取組及び具体的方策			
「５つのミッション」	「８の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
Ⅰ グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 全ての科目において、プロジェクト学習を取り入れ、課題解決学習を主軸とする学習を実践する。	(1) 課題解決学習を意識した、プロジェクト学習を概ね展開することができた。	(1) 課題解決学習のテーマとして、地域の資源や環境を意識した学習を展開していきたい。	4
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) 釧路町の姉妹都市であるペルー共和国タルマ市の特産物キヌアの栽培を通して、グローバル教育を実践する。	(1) 釧路町の特産化として注目されているキヌアの栽培および活用法の学習を展開した。	(1) 釧路町の特産化を後押しできるように、さらにキヌアの活用法について学習を深化させ、活用していく。	5
Ⅱ 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 町の特産物であるジャガイモやマメ類等生物生産することで、地域の理解と栽培過程を学習する。 (2) キヌアの認知度UPを図る教育活動を展開する。	(1) 地域の気候に最適なジャガイモや豆類の栽培を通して、地域の農業理解に努めた。 (2) キヌアを主軸とする飼料化に係わる教育活動を実施した。	(1) 地域の主力である野菜類を栽培し、地域の農業理解をさらに進めていく。 (2) キヌアの認知度を高めるため、情報紙などを用いて地域の方々に発信していく。	5 5
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 2年次における町内農家委託実習、3年次における産業現場実習を実施し、地域産業構造や6次産業など、地域産業の理解に努める。	(1) 2年次、3年次それぞれの実習を実施した。地域の方々の協力を得ながら、地域一体となり産業教育を遂行することができた。	(1) 2年次の町内農家実習、3年次の産業現場実習の充実を図り、生徒一人ひとりの産業理解に努めていく。	5
	5 「地球環境を守り創造する学校」	(1) 温室栽培における冬季のハウス施設の暖房を節約（灯油の使用を抑制）。 (2) プロジェクト学習における循環型農業の推進に努める。 (3) バイオ炭を活用した環境保全型の推進。	(1) 暖房を極力抑制しながらも、冬季野菜栽培を実施した。 (2) 地域の未利用資源を活用した養鶏を実施し、糞尿も堆肥化するなど循環型農業の推進に努めた。 (3) バイオ炭を土壌に混和し、環境保全教育を推進した。	(1) エネルギー問題を常に意識した農業生産活動を実践していく。 (2) プロジェクト学習において、さらに環境に配慮した活動を展開していく。 (3) ゼロカーボンの実現に向けた取り組みを実践していく。	4 5 5
Ⅲ 地球環境を守り創造する学校	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 絵本の里ならではの取り組みとして、絵本を教材とした地域資源を活用し、情操教育に繋げた取り組みを実施する。 (2) 道北の海洋副産物を活用した農業生産の推進。	(1) 絵本の町としての教材を活用し、情報教育を実施した。 (2) 道北の海洋副産物であるホタテの貝殻などを飼料化し、養鶏を行った。	(1) 町の資源である絵本を活用し、情操教育をさらに深めた活動を実践していく。 (2) 道北の未利用資源をさらに開拓し、有効活用できる学習を図る。	4 5
	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) ICTを用いたスマート農業について、近代的農業経営における学習を実践し理解を深める。	(1) スマート農業教育の一環として、ドローンによる農業への活用について、外部講師を招いて学習展開を行った。	(1) スマート農業教育を実践するため、最先端の農業教育を進めていく。	5
Ⅳ 地域交流の拠点となる学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 定期的に防火査察を実施し、日頃から地域防災意識を高める。 (2) 停電等を想定した自然エネルギーの活用教育。	(1) 防火査察を月1回実施し、防災意識を高めた。 (2) 太陽光パネルなどを活用し、自然エネルギー活用教育を実践した。	(1) 防災意識を高める活動を進める。 (2) さらなる自然エネルギーを活用できる教育を展開していく。	4 5
	9 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 定期的に防火査察を実施し、日頃から地域防災意識を高める。 (2) 停電等を想定した自然エネルギーの活用教育。	(1) 防火査察を月1回実施し、防災意識を高めた。 (2) 太陽光パネルなどを活用し、自然エネルギー活用教育を実践した。	(1) 防災意識を高める活動を進める。 (2) さらなる自然エネルギーを活用できる教育を展開していく。	4 5